

HIROSE-HOSP. HIROSE-HOSP.

ひろせほすぷ
2014

リハビリセンター プラザ

平成24年8月に短時間の通所リハビリ『リハビリセンター プラザ』を開設し1年5ヶ月が経過しました。

少しずつスタッフや送迎車などを整えていき、運動器のリハビリを提供しています。

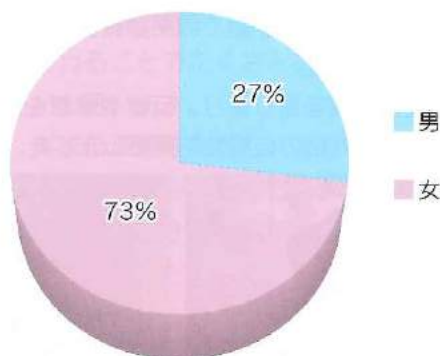
整形外科専門の病院であるために、痛みを伴っているが生活は自立されている方が多いのが特徴です。状態に応じたリハビリを提供し、これからも住み慣れた地域での生活を送っていただけるよう多職種と連携して支援してまいりたいと思います。

利用者からの声

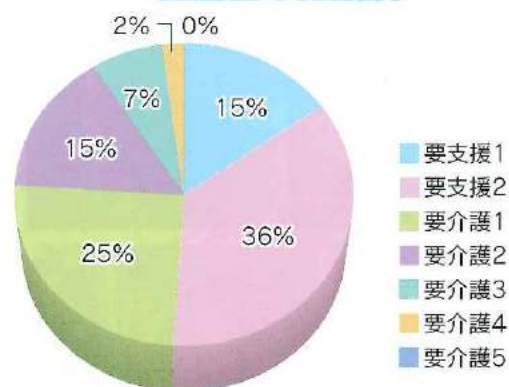
- 送迎付きなのが嬉しい。
- 顔なじみのスタッフとリハビリできるので安心。
- リハビリだけして帰れるので、家で用事ができる。
- 家ではなかなか運動ができないが、プラザに来ると他の人も運動しているので頑張ることができる。
- 痛みが強いとどれくらいの量や強さで運動してよいのか不安だが、具体的に指導してもらえる。
- セルフトレーニングの指導をもらえるので家でも運動ができる。
- 今までは介護保険に抵抗があったが、歩行器のレンタルや手すりの設置などしてもらってよかった。



男女比



利用者の介護度



学 会 報 告

全日本病院学会に参加して



今回“当院における骨密度測定率の向上について”というテーマでの研究を行いました。

骨密度測定を行うことで、骨粗鬆症の治療介入につなげていくことができました。

今後も継続した検査を行い、高齢者の骨折予防に役立てていけたらと感じています。



看護師 ■ 松原 真由美

消 防 消 火 避 難 訓 練

広瀬病院では毎年2回消防・消火・避難訓練を行います。

避難訓練

昨年は消防士さんの指導のもと実施しましたが、今年は職員が計画をたてて初期消火・通報・避難訓練を行いました。



開始から打ち合わせ通りスムーズにいき短時間で終了しました。



消火訓練

消火訓練・防火扉の確認を行いました。

消火器の使い方、消火栓を使つての放水を体験しました。



火災通報電話の使用方法について、実際の手順通りに消防署への火災状況の連絡をしました。

各階の防火扉の手動での閉鎖確認と消火器の場所の確認もしました。

最後に訓練を振り返り、反省や感想を話し合い、冷静、沈着な対応の必要性を実感しました。



中学生職場体験学習

リハビリテーション部

平成25年10月31日、当院のリハビリテーション部に中学校より職場体験学習として研修生が来られました。中学校では運動部に所属しており、「ストレッチやトレーニングを学びたい」という希望があり、1日だけでしたが、ストレッチやトレーニングの重要性等を伝えることができたかと思えます。

体験内容としては主に外来リハビリの見学・体験、入院患者様達とレクリエーションに参加していただきました。各々でのリハビリテーションの重要性やリハビリスタッフの役割等を理解していただけたのではないかと思います。

外来では実際にトレーニング器具を使用し、ストレッチやトレーニングの指導をさせていただきました。生徒さん自身が自分の弱点を知り、今後の部活動に活かして、怪我のない強い身体作りをしていただきたいです。レクリエーションに参加されていた患者様達も生徒さんを快く迎え入れてくださり、短い時間ではありましたが、楽しんでいただけたのではないかと思います。

体験実習終了時には「すごく楽しかった。ストレッチやトレーニングをしっかりと行っていきたい」という言葉を聞くことができました。この言葉には我々スタッフも嬉しく感じました。今回の体験実習では研修生も良い勉強になったと思いますが、我々リハビリスタッフも良い勉強ができたのではないかと思います。

理学療法士 ■ 前神 亜耶



看護部

当院でも、11月13日～15日までの3日間に渡り、地元中学校より職場体験学習として、女子生徒さん1名が病院業務を体験しました。

学生さんはとても緊張した様子でしたが、患者さんやスタッフと関わっていく中で少しずつ表情も和らぎいい笑顔を見せてくれるようになりました。

患者さんとも触れ合う機会が多くとれ、看護職だけでなく、患者さんに関わることでたくさんの学びを得ることができたのではないかと思います。

最終日、実際の現場を体験し、より看護師になりたいという思いを強くしたと聞き、とてもいい経験になったのではないかと思います。私自身も今回の職場体験はいい学びとなったことをうれしく思いました。

これからも学習頑張っ、いい看護師さんとなり、一緒に働ける日を楽しみにしたいです。

看護師 ■ 福島 真璃奈





お正月の由来



昔から、元旦には「年神様(としがみさま)」という新年の神様が、1年の幸福をもたらすために各家庭に降臨するとされています。年神様は祖霊神であり、田の神、山の神でもあるため、子孫繁栄や五穀豊穡に深く関わり、人々に健康や幸福を授けるとされていて、「正月様」「歳徳神(としとくじん)」ともいいます。

その年神様を迎え入れてお祝いし、たくさんの幸せを授けてもらうために、様々な正月行事や風習が生まれました。



新しい年を“迎える”と表現したり、“一年の計は元旦にあり”といったりするのも、年神様を元旦にお迎えするからで、お正月の行事や風習には、年神様をめぐる一連のストーリーがあります。それはまるで、私たちが大事なお客様(例えば、神様とあがめたくなるほど尊敬する方)をおもてなししているようにも思えて、おもしろいですよ。

鏡開きについて

鏡開きとは、お正月に神様、仏様に供えていた鏡餅を下げ、それを食べる風習です。

神様に供えた食べ物には力が備わると考えられ、神様や仏様に感謝しながらそれを食べることによって、**無病息災を祈願しています。**

鏡開きのマナー

鏡餅を包丁で切るといことは、切腹を連想させるので、マナーに反すると考えられています。

鏡餅は、一般的に木槌で開くことが縁起が良いとされています。



医療法人社団研宣会

専門性を生かした

患者様中心の医療と看護



広瀬病院

〒760-0079 高松市松縄町35-3 TEL: 087-867-9911(代) FAX: 087-867-9988

ホームページ <http://www.hirose-hosp.or.jp>

Email info@hirose-hosp.or.jp

発行者: 医療法人社団研宣会理事長 広瀬友彦

編集: 広瀬病院広報委員会

発行日: 平成26年1月